



# 遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3  
☎ 0258-32-1741 fax 32-6443



原発再稼働ストップ

県民大運動  
「災害対策」で  
質疑応答

## 河川管理を強めて大雨被害を防いで！

11月16日、県民大運動「災害対策」の要望で、遠藤れい子は発言しました。

### 遠藤れい子の質問

「県議の時に河川の浚渫・雑木伐採について質問したが、地域の人たちは豪雨時に大洪水になっては本当に困ると心配している。定期的巡視で緊急性の高いところから対応しているということだが、その判断基準は何か。また、どれくらいの規模で対策をしたか」

### 県の回答

定期的な巡視で、河川の状態を確認している。土砂の堆積状況―河川の断面に対して土砂がどの程度溜まっているか。雑木の繁茂状況などで、河川が溢れた場合に人家への影響が大きい地域を優先して対策をしている。

新潟県内は河川が多く、何キロ対応したの把握は難しいが、昨年比13億円程度で事業を進めた。市町村や地元区長等からも大きな要望もあり、対策を進めてい

きたい。

### ダム的事前放流可能に

一昨年要望された県管理ダム20基の「事前放流」は、今年の6月30日から、既存施設の放流設備を活用して

### 日本共産党の経済再生プラン（紹介その4）

#### ③「過労死」をつみだすような長時間労働をなくします

低賃金の非正規雇用の拡大と同時に、労働時間の「規制緩和」も繰り返され、長時間・過密労働が強化されてきました。「過労死」が依然として日本社会の大問題となっています。長時間労働は、労働者の健康と命を脅かすとともに、家族的責任を果たすことを困難にしています。

―― 残業時間の上限を「週15時間、月45時間、年360時間」に規制します。

現状は、「特別の事情のある場合に」月100時間未満「など」と「過労死基準」を超える残業が容認されていますが、こうした規定を撤

すべてのダムで行うとの回答でした。建設中の鶴川ダムも既存のダムと同様な方法で事前放流を行うことになりました。

バル規制を制度化します。

―― 裁量労働制の抜本改善、残業代ゼロ制度（高度プロフェッショナル制度）の廃止、名ばかり管理職など、長時間労働の「抜け穴」・脱法行為をなくします。

―― 「サービスマン残業」を根絶するために、実労働時間を正確に把握・記録し、違法が発覚したら残業代を2倍にします。

廃し、残業時間の上限を順守させるようにします。連続11時間の勤務間インター

11月12日、長岡市会議員・笠井のりお後援会の皆さんと、信州中野市のりんご園に行ってきました。雨の心配も青空となり、素晴らしいりんご狩り日和になりました。

中野市で日本共産党の市会議員をされている阿部光則さんの果樹園です。

わにりんごは実っています。

一緒にいった2人の孫も元気いっぱい、りんご狩りを楽しみました。御世話くださった皆さん、ありがとうございました。

### 遠藤れい子の笑顔でファイト

「すごい暑さで害虫も発生し、できはあまりよくない」との説明でしたが、たわ

